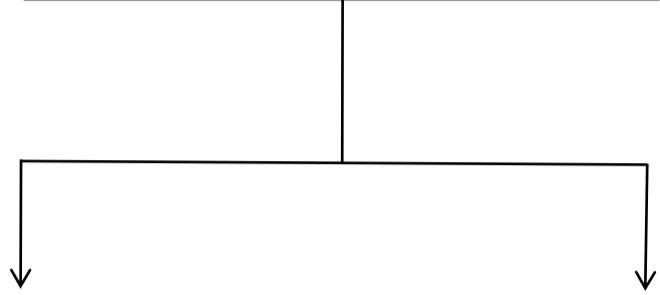


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業	事業開始年度	平成14年度	作成責任者		
担当部局庁	食品安全部	担当課室	監視安全課	加地祥文		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第2条、と畜場法第2条、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第1条の2、牛海綿状脳症対策特別措置法第3条等	関係する計画、通知等	「牛海綿状脳症に関する検査の実施について」(部長通知)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食鳥肉・食肉等の安全確保、監視指導体制を強化するため、米国、カナダからの牛肉輸入における対日輸出条件の現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員、食鳥検査員、と畜検査員の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し、食の安全を確保する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米国産及びカナダ産牛肉の対日輸出施設等に対して定期的に査察を行うとともに、BSEスクリーニング検査の外部精度管理、食品衛生監視員に対する疫学調査、監視指導等に関する講習会の実施、食鳥検査員及びと畜検査員に対する検査技術や衛生管理、疾病診断法等に関する研修会の実施					
実施状況	米国、カナダの対日輸出施設である食肉処理施設の現地査察(21年8月、11月)を行うとともに、都道府県が行うBSEスクリーニング検査への外部精度管理、講習会、研修会を実施(21年度 延べ2,973名参加)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	65	55	48	44	30
	執行額	60	54	34		
	執行率	92%	98%	71%		
	総事業費(執行ベース)	60	54	34		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	米国、カナダの対日輸出施設における輸出条件の遵守状況を確認し、輸入牛肉の安全性を確保するとともに、都道府県等(食肉衛生検査所)が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理を実施し、検査の信頼性を確保している。 また、都道府県等の食品衛生監視員に対する食中毒の疫学調査、監視指導等に関する研修会、講習会や食鳥検査員、と畜検査員に対する検査技術、衛生管理、疾病診断等に関する研修会を開催し、監視指導体制の向上を図っている。				
	見直しの余地	対日輸出施設への査察など相手国との協議等の状況等他動的要因により執行率に変動が生じるが、より効率的な執行が行えるよう必要に応じて見直しを検討。				
予算監視の所見率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 牛海綿状脳症(BSE)対策費について、執行実態を勘案し、より効率的な執行が行われるよう見直しを行うこと。					
補記						

厚生労働省
5.8百万円
BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業



【随意契約】

A. 民間会社等
13社 5.5百万円
(内訳別紙)

研修会の資料印刷、試験
検査等に必要な機器の修
理等

【旅費・謝金】

B 講師等
23者 0.3百万円

各研修会等の講師への謝
金、旅費等

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

【事務費:28.2百万円は除外】

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A. (株)太陽美術			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	資料印刷	1.8			
計		1.8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

